



障害の収集と抑制

- [障害収集ポリシーの設定 \(1 ページ\)](#)
- [障害抑制の設定 \(3 ページ\)](#)

障害収集ポリシーの設定

グローバル障害ポリシー

グローバル障害ポリシーは、障害がクリアされた日時、フラッピング間隔（障害発生とクリア状態の間の時間）、および保持間隔（システムで障害が発生していた時間）など、Cisco UCS ドメイン内の障害のライフサイクルを制御します。

Cisco UCS の障害には次のライフサイクルがあります。

1. ある状況がシステムで発生し、Cisco UCS Manager で障害が発生します。これはアクティブな状態です。
2. 障害が軽減されると、フラッピングまたはフラッピングを防ぐことを目的としたソーキング間隔になります。障害が発生し、すぐに何度かクリアされると、フラッピングが発生します。フラッピング間隔中に、グローバル障害ポリシーで指定された期間にわたり、障害の重要度が保持されます。
3. フラッピング間隔中に同じ条件が再発生した場合は、障害がアクティブ状態に戻ります。フラッピング間隔中に同じ条件が再発生しない場合は、障害がクリアされます。
4. クリアされた障害は保持期間になります。この期間があるため、障害が発生した状態が改善され、さらに障害が早々に削除されていない場合でも管理者が障害に気付くことができます。保持期間のうち、グローバル障害ポリシーで指定された期間にわたり、クリアされた障害が保持されます。
5. この状況が保持間隔中に再発生する場合は、障害がアクティブ状態に戻ります。この状況が再発生しない場合は、障害が削除されます。

グローバル障害ポリシーの構成

手順

- ステップ1 [ナビゲーション]ペインで、[管理者]をクリックします。
- ステップ2 [すべて]>[障害、イベント、および監査ログ]を展開します。
- ステップ3 [設定 (Settings)]をクリックします。
- ステップ4 [Work] ペインで、[Global Fault Policy] タブをクリックします。
- ステップ5 [グローバル障害ポリシー (Global Fault Policy)]タブで、次のフィールドに値を入力します。

名前	説明
[フラッピング間隔 (Flapping Interval)]フィールド	<p>障害が発生し、すぐに何度かクリアされると、フラッピングが発生します。これを防止するため、Cisco UCS Managerでは、最後に状態が変更されてからこの時間が経過するまで、障害が発生しても状態は変更されません。</p> <p>フラッピング間隔中に同じ条件が再発生した場合は、障害がアクティブ状態に戻ります。フラッピング間隔中に同じ条件が再発生しない場合は、障害がクリアされます。その時点で何が発生するかは、[クリア処理 (Clear Action)]フィールドの設定によって異なります。</p> <p>5～3,600の範囲の整数を入力します。デフォルトは10です。</p>
[当初のシビラティ (重大度) (Initial Severity)]フィールド	<p>次のいずれかになります。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 情報 • 条件 • 警告
[確認時のアクション (Action on Acknowledgment)]フィールド	<p>認識されたアクションはログがクリアされると必ず削除されます。このオプションは変更できません。</p>
[クリア処理 (Clear Action)]フィールド	<p>エラーがクリアされるときに Cisco UCS Manager が実行するアクション。次のいずれかになります。</p> <ul style="list-style-type: none"> • [保持 (Retain)] : Cisco UCS Manager GUI に [クリア済み障害の保持期間 (Length of time to retain cleared faults)] セクションが表示されます。 • [削除 (Delete)] : 障害メッセージにクリアのマークが付いた時点で、Cisco UCS Managerはすぐに障害メッセージを削除します。

名前	説明
[クリア間隔 (Clear Interval)] フィールド	<p>Cisco UCS Manager によって特定の間隔で自動的に障害をクリアするかどうかを指定します。次のいずれかになります。</p> <ul style="list-style-type: none"> • [不可 (Never)] : Cisco UCS Manager は自動的に障害をクリアしません。 • [その他 (other)] : Cisco UCS Manager GUI に [dd:hh:mm:ss] フィールドが表示されます。
[dd:hh:mm:ss] フィールド	<p>Cisco UCS Manager が障害にクリア済みのマークを付けるまでの経過時間 (日、時、分、および秒)。その時点で何が発生するかは、[クリア処理 (Clear Action)] フィールドの設定によって異なります。</p>

ステップ 6 [Save Changes] をクリックします。

障害抑制の設定

フォールト抑制

障害抑制によって、予定されたメンテナンス時間中に SNMP トラップおよび Call Home 通知を抑制することができます。障害抑制タスクを作成し、一時的な障害が発生またはクリアされるたびに通知が送信されることを防止できます。

障害は、期限切れになるか、フォールト抑制タスクが手動で停止されるまで抑制されたままになります。フォールト抑制が終了した後に、Cisco UCS Manager がクリアされていない未処理の抑制された障害の通知を送信します。

次の方法を使用して障害抑制を設定することができます。

Fixed Time Intervals (固定時間間隔) または Schedules (スケジュール)

以下を使用して、障害を抑制するメンテナンス ウィンドウを指定することができます。

- 固定時間間隔を使用すると、開始時刻と障害抑制をアクティブにする期間を指定できます。固定時間間隔は繰り返し使用できません。
- スケジュールは、1 回限り、または繰り返される期間で使用されます。スケジュールは保存して再利用することができます。

抑制ポリシー

これらのポリシーは、抑制する要因と障害タイプを定義します。タスクに割り当てることができるポリシーは1つだけです。次のポリシーが Cisco UCS Manager によって定義されます。

- **default-chassis-all-maint** : シャーシとそのシャーシにインストールされたすべてのコンポーネントの障害を抑制します。コンポーネントには、すべてのサーバ、電源、ファンモジュール、IOM などが含まれます。

このポリシーは、シャーシにのみ適用されます。

- **default-chassis-phys-maint** : シャーシ、すべてのファンモジュール、シャーシに装着された電源の障害を抑制します。

このポリシーは、シャーシにのみ適用されます。

- **default-fex-all-maint** : FEX、すべての電源、ファンモジュール、FEX 内の IOM の障害を抑制します。

このポリシーは、FEX にのみ適用されます。

- **default-fex-phys-maint** : FEX、FEX 内のすべてのファンモジュールと電源の障害を抑制します。

このポリシーは、FEX にのみ適用されます。

- **default-server-maint** : サーバの障害を抑制します。

このポリシーは、シャーシ、組織およびサービスプロファイルに適用されます。



(注) シャーシに適用された場合、サーバのみが影響を受けます。



(注) データセンターで使用される高性能な高信頼性サーバアクセススイッチをサポートするように設計された NX-OS ネットワークオペレーティングシステムで生成される SNMP MIB-2 障害を、Cisco UCS Manager は抑制しません。これらの SNMP MIB-2 障害は、この障害抑制ポリシーに関連付けられていません。

- **default-iom-maint** : シャーシまたは FEX 内の IOM の障害を抑制します。

このポリシーは、シャーシ、FEX および IOM にのみ適用されます。

抑制タスク

これらのタスクを使用して、スケジュール設定または固定時間間隔と抑制ポリシーをコンポーネントに関連付けることができます。



- (注) 抑制タスクの作成後は、タスクの固定時間間隔またはスケジュールを Cisco UCS Manager GUI と Cisco UCS Manager CLI の両方で編集できるようになります。ただし、Cisco UCS Manager CLI で変更できるのは、固定時間間隔を使用するかスケジュールを使用するかの切り替えのみです。

抑制された障害の表示

手順

- ステップ 1 [ナビゲーション] ペインで、[管理者] をクリックします。
- ステップ 2 [すべて] > [障害、イベント、および監査ログ] を展開します。
- ステップ 3 [Faults] をクリックします。
- ステップ 4 [Work] ペインで、[Severity] 領域にある [Suppressed] アイコンを選択します。
抑制された障害のみを表示するには、[Severity] 領域にある他のアイコンの選択を解除します。

シャーシに対する障害抑制の設定

シャーシに対する障害抑制タスクの設定

手順

- ステップ 1 [ナビゲーション] ペインで、[機器] をクリックします。
- ステップ 2 [機器] > [シャーシ] を展開します。
- ステップ 3 障害抑制タスクを作成するシャーシをクリックします。
- ステップ 4 [Work] ペインで、[General] タブをクリックします。
- ステップ 5 [Actions] エリアで、[Start Fault Suppression] をクリックします。
ヒント 複数のシャーシに対して障害抑制タスクを設定するには、[Navigation] ペインで、Ctrl キーを使用して複数のシャーシを選択します。選択したシャーシのいずれかを右クリックして、[Start Fault Suppression] を選択します。
- ステップ 6 [Start Fault Suppression] ダイアログボックスで、次のフィールドに入力します。

[Name] フィールド	<p>障害抑制タスクの名前。</p> <p>この名前には、1～16文字の英数字を使用できます。- (ハイフン)、_ (アンダースコア)、: (コロン)、および. (ピリオド) は使用できますが、それ以外の特殊文字とスペースは使用できません。また、オブジェクトが保存された後に、この名前を変更することはできません。</p>
[Select Fixed Time Interval/Schedule] フィールド	<p>障害抑制タスクを実行するタイミングを指定します。次のいずれかになります。</p> <ul style="list-style-type: none"> • [Fixed Time Interval] : 障害抑制タスクの開始時間と期間を指定するには、このオプションを選択します。 <p>[Start Time] フィールドに、障害抑制タスクを開始する日付と時間を指定します。このフィールドの終わりにある下向き矢印をクリックして、ポップアップカレンダーから開始時間を選択します。</p> <p>[Task Duration] フィールドに、このタスクの継続時間を指定します。手動で停止するまでこのタスクを実行させる場合は、このフィールドに「00:00:00:00」と入力します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • [Schedule] : 事前に定義されたスケジュールを使用して開始時間と期間を設定するには、このオプションを選択します。 <p>[Schedule] ドロップダウンリストからスケジュールを選択します。新しいスケジュールを作成するには、[Create Schedule] をクリックします。</p>
[Policy] ドロップダウンリスト	<p>ドロップダウンリストから、次の抑制ポリシーを選択します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • default-chassis-all-maint : シャーシとそのシャーシにインストールされたすべてのコンポーネントの障害を抑制します。コンポーネントには、すべてのサーバ、電源、ファンモジュール、IOMなどが含まれます。 • default-chassis-phys-maint : シャーシ、すべてのファンモジュール、シャーシに装着された電源の障害を抑制します。 • default-server-maint : サーバの障害を抑制します。 <p>(注) シャーシに適用された場合、サーバのみが影響を受けます。</p> <ul style="list-style-type: none"> • default-iom-maint : シャーシまたは FEX 内の IOM の障害を抑制します。

ステップ7 [OK] をクリックします。

シャーシに対する障害抑制タスクの表示

手順

- ステップ 1 [ナビゲーション]ペインで、[機器]をクリックします。
- ステップ 2 [機器]>[シャーシ]を展開します。
- ステップ 3 障害抑制タスク プロパティを表示するシャーシをクリックします。
- ステップ 4 [Work] ペインで、[General] タブをクリックします。
- ステップ 5 [Actions] 領域で、[Suppression Task Properties] をクリックします。

[Suppression Tasks] ダイアログボックスでは、新しい障害抑制タスクの追加、既存の障害抑制タスクの削除、既存の障害抑制タスクの変更を行うことができます。

シャーシに対する障害抑制タスクの削除

この手順では、シャーシに対する障害抑制タスクをすべて削除します。タスクを個別に削除するには、[Suppression Tasks] ダイアログボックスで、[Delete] ボタンを使用します。[シャーシに対する障害抑制タスクの表示 \(7 ページ\)](#) を参照してください。

手順

- ステップ 1 [ナビゲーション]ペインで、[機器]をクリックします。
- ステップ 2 [機器]>[シャーシ]を展開します。
- ステップ 3 すべての障害抑制タスクを削除するシャーシをクリックします。
- ステップ 4 [Work] ペインで、[General] タブをクリックします。
- ステップ 5 [Actions] 領域で、[Stop Fault Suppression] をクリックします。

ヒント 複数のシャーシに対して障害抑制タスクを削除するには、[Navigation] ペインで、Ctrl キーを使用して複数のシャーシを選択します。選択したシャーシのいずれかを右クリックして、[Stop Fault Suppression] を選択します。

- ステップ 6 確認ダイアログボックスが表示されたら、[はい]をクリックします。

I/O モジュールに対する障害抑制の設定

IOM に対する障害抑制タスクの設定

手順

- ステップ 1 [ナビゲーション] ペインで、[機器] をクリックします。
- ステップ 2 (任意) シャーシ内の IOM モジュールを選択するには、[Equipment] > [Chassis] > [Chassis Number] > [IO Modules] の順に展開します。
- ステップ 3 (任意) FEX 内の IOM モジュールを選択するには、[Equipment] > [Chassis] > [FEX Number] > [IO Modules] の順に展開します。
- ステップ 4 障害抑制タスクを作成する IOM をクリックします。
- ステップ 5 [Work] ペインで、[General] タブをクリックします。
- ステップ 6 [Actions] 領域で、[Start Fault Suppression] をクリックします。

ヒント 複数の IOM の障害抑制タスクを設定するには、[Navigation] ペインで、**Ctrl** キーを使用して複数の IOM を選択します。選択したいいずれかの IOM を右クリックし、[Start Fault Suppression] を選択します。

シャーシか FEX またはその両方で IOM を選択できます。

- ステップ 7 [Start Fault Suppression] ダイアログボックスで、次のフィールドに入力します。

[Name] フィールド	<p>障害抑制タスクの名前。</p> <p>この名前には、1 ~ 16 文字の英数字を使用できます。- (ハイフン)、_ (アンダースコア)、: (コロン)、および . (ピリオド) は使用できますが、それ以外の特殊文字とスペースは使用できません。また、オブジェクトが保存された後に、この名前を変更することはできません。</p>
--------------	--

[Select Fixed Time Interval/Schedule] フィールド	<p>障害抑制タスクを実行するタイミングを指定します。次のいずれかになります。</p> <ul style="list-style-type: none"> • [Fixed Time Interval] : 障害抑制タスクの開始時間と期間を指定するには、このオプションを選択します。 <p>[Start Time] フィールドに、障害抑制タスクを開始する日付と時間を指定します。このフィールドの終わりにある下向き矢印をクリックして、ポップアップカレンダーから開始時間を選択します。</p> <p>[Task Duration] フィールドに、このタスクの継続時間を指定します。手動で停止するまでこのタスクを実行させる場合は、このフィールドに「00:00:00:00」と入力します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • [Schedule] : 事前に定義されたスケジュールを使用して開始時間と期間を設定するには、このオプションを選択します。 <p>[Schedule] ドロップダウンリストからスケジュールを選択します。新しいスケジュールを作成するには、[Create Schedule] をクリックします。</p>
[Policy] ドロップダウンリスト	<p>デフォルトでは、次の抑制ポリシーが選択されます。</p> <ul style="list-style-type: none"> • default-iom-maint : シャーシまたは FEX 内の IOM の障害を抑制します。

ステップ 8 [OK] をクリックします。

IOM に対する障害抑制タスクの表示

手順

ステップ 1 [ナビゲーション] ペインで、[機器] をクリックします。

ステップ 2 (任意) シャーシ内の IOM モジュールを選択するには、[Equipment] > [Chassis] > [Chassis Number] > [IO Modules] の順に展開します。

ステップ 3 (任意) FEX 内の IOM モジュールを選択するには、[Equipment] > [Chassis] > [FEX Number] > [IO Modules] の順に展開します。

ステップ 4 障害抑制タスク プロパティを表示する IOM をクリックします。

ステップ 5 [Work] ペインで、[General] タブをクリックします。

ステップ 6 [Actions] 領域で、[Suppression Task Properties] をクリックします。

[Suppression Tasks] ダイアログボックスでは、新しい障害抑制タスクの追加、既存の障害抑制タスクの削除、既存の障害抑制タスクの変更を行うことができます。

IOM に対する障害抑制タスクの削除

この手順は、IOM の障害抑制タスクをすべて削除します。タスクを個別に削除するには、[Suppression Tasks] ダイアログボックスで、[Delete] ボタンを使用します。IOM に対する障害抑制タスクの表示 (9 ページ) を参照してください。

手順

-
- ステップ 1 [ナビゲーション] ペインで、[機器] をクリックします。
 - ステップ 2 (任意) シャーシ内の IOM モジュールを選択するには、[Equipment] > [Chassis] > [Chassis Number] > [IO Modules] の順に展開します。
 - ステップ 3 (任意) FEX 内の IOM モジュールを選択するには、[Equipment] > [Chassis] > [FEX Number] > [IO Modules] の順に展開します。
 - ステップ 4 障害抑制タスクをすべて削除する IOM をクリックします。
 - ステップ 5 [Work] ペインで、[General] タブをクリックします。
 - ステップ 6 [Actions] 領域で、[Stop Fault Suppression] をクリックします。

ヒント 複数の IOM の障害抑制タスクを削除するには、[Navigation] ペインで、**Ctrl** キーを使用して複数の IOM を選択します。選択したいいずれかの IOM を右クリックし、[Stop Fault Suppression] を選択します。

シャーシか FEX またはその両方で IOM を選択できます。

- ステップ 7 確認ダイアログボックスが表示されたら、[はい] をクリックします。
-

FEX に対する障害抑制の設定

FEX に対する障害抑制タスクの設定

手順

-
- ステップ 1 [ナビゲーション] ペインで、[機器] をクリックします。
 - ステップ 2 [Equipment] > [Rack Mounts] > [FEX] の順に展開します。
 - ステップ 3 障害抑制タスクを作成する FEX をクリックします。
 - ステップ 4 [Work] ペインで、[General] タブをクリックします。
 - ステップ 5 [Actions] 領域で、[Start Fault Suppression] をクリックします。

ヒント 複数の FEX に対して障害抑制タスクを設定するには、[Navigation] ペインで、**Ctrl** キーを使用して複数の FEX を選択します。選択したいいずれかの FEX を右クリックし、[Start Fault Suppression] を選択します。

ステップ 6 [Start Fault Suppression] ダイアログボックスで、次のフィールドに入力します。

[Name] フィールド	<p>障害抑制タスクの名前。</p> <p>この名前には、1～16 文字の英数字を使用できます。- (ハイフン)、_ (アンダースコア)、: (コロン)、および. (ピリオド) は使用できますが、それ以外の特殊文字とスペースは使用できません。また、オブジェクトが保存された後に、この名前を変更することはできません。</p>
[Select Fixed Time Interval/Schedule] フィールド	<p>障害抑制タスクを実行するタイミングを指定します。次のいずれかになります。</p> <ul style="list-style-type: none"> • [Fixed Time Interval] : 障害抑制タスクの開始時間と期間を指定するには、このオプションを選択します。 <p>[Start Time] フィールドに、障害抑制タスクを開始する日付と時間を指定します。このフィールドの終わりにある下向き矢印をクリックして、ポップアップ カレンダーから開始時間を選択します。</p> <p>[Task Duration] フィールドに、このタスクの継続時間を指定します。手動で停止するまでこのタスクを実行させる場合は、このフィールドに「00:00:00:00」と入力します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • [Schedule] : 事前に定義されたスケジュールを使用して開始時間と期間を設定するには、このオプションを選択します。 <p>[Schedule] ドロップダウンリストからスケジュールを選択します。新しいスケジュールを作成するには、[Create Schedule] をクリックします。</p>
[Policy] ドロップダウンリスト	<p>ドロップダウンリストから、次の抑制ポリシーを選択します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • default-fex-all-maint : FEX、すべての電源、ファン モジュール、FEX 内の IOM の障害を抑制します。 • default-fex-phys-maint : FEX、FEX 内のすべてのファンモジュールと電源の障害を抑制します。 • default-iom-maint : シャーシまたは FEX 内の IOM の障害を抑制します。

ステップ 7 [OK] をクリックします。

FEX に対する障害抑制タスクの表示

手順

- ステップ 1 [ナビゲーション] ペインで、[機器] をクリックします。
- ステップ 2 [Equipment] > [Rack Mounts] > [FEX] の順に展開します。
- ステップ 3 障害抑制タスク プロパティを表示する FEX をクリックします。
- ステップ 4 [Work] ペインで、[General] タブをクリックします。
- ステップ 5 [Actions] 領域で、[Suppression Task Properties] をクリックします。

[Suppression Tasks] ダイアログボックスでは、新しい障害抑制タスクの追加、既存の障害抑制タスクの削除、既存の障害抑制タスクの変更を行うことができます。

FEX に対する障害抑制タスクの削除

この手順では、FEX に対する障害抑制タスクをすべて削除します。タスクを個別に削除するには、[Suppression Tasks] ダイアログボックスで、[Delete] ボタンを使用します。[FEX に対する障害抑制タスクの表示 \(12 ページ\)](#) を参照してください。

手順

- ステップ 1 [ナビゲーション] ペインで、[機器] をクリックします。
- ステップ 2 [Equipment] > [Rack Mounts] > [FEX] の順に展開します。
- ステップ 3 すべての障害抑制タスクを削除する FEX をクリックします。
- ステップ 4 [Work] ペインで、[General] タブをクリックします。
- ステップ 5 [Actions] 領域で、[Stop Fault Suppression] をクリックします。

ヒント 複数の FEX に対して障害抑制タスクを削除するには、[Navigation] ペインで、Ctrl キーを使用して複数の FEX を選択します。選択した FEX のいずれかを右クリックし、[Stop Fault Suppression] を選択します。

- ステップ 6 確認ダイアログボックスが表示されたら、[はい] をクリックします。

サーバに対する障害抑制の設定

ブレードサーバに対する障害抑制タスクの設定

手順

ステップ 1 [ナビゲーション]ペインで、[機器]をクリックします。

ステップ 2 [機器 (Equipment)] > [シャーシ (Chassis)] > [シャーシ番号 (Chassis Number)] > [サーバ (Servers)] の順に展開します。

ステップ 3 障害抑制タスクを作成するサーバをクリックします。

ステップ 4 [Work] ペインで、[General] タブをクリックします。

ステップ 5 [Actions] エリアで、[Start Fault Suppression] をクリックします。

ヒント 複数のブレードサーバに対して障害抑制タスクを設定するには、[Navigation] ペインで、**Ctrl** キーを使用して複数のブレードサーバを選択します。選択したサーバのいずれかを右クリックして、[Start Fault Suppression] を選択します。

ステップ 6 [Start Fault Suppression] ダイアログボックスで、次のフィールドに入力します。

[Name] フィールド	<p>障害抑制タスクの名前。</p> <p>この名前には、1～16文字の英数字を使用できます。- (ハイフン)、_ (アンダースコア)、: (コロン)、および. (ピリオド) は使用できますが、それ以外の特殊文字とスペースは使用できません。また、オブジェクトが保存された後に、この名前を変更することはできません。</p>
[Select Fixed Time Interval/Schedule] フィールド	<p>障害抑制タスクを実行するタイミングを指定します。次のいずれかになります。</p> <ul style="list-style-type: none"> • [Fixed Time Interval] : 障害抑制タスクの開始時間と期間を指定するには、このオプションを選択します。 <p>[Start Time] フィールドに、障害抑制タスクを開始する日付と時間を指定します。このフィールドの終わりにある下向き矢印をクリックして、ポップアップカレンダーから開始時間を選択します。</p> <p>[Task Duration] フィールドに、このタスクの継続時間を指定します。手動で停止するまでこのタスクを実行させる場合は、このフィールドに「00:00:00:00」と入力します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • [Schedule] : 事前に定義されたスケジュールを使用して開始時間と期間を設定するには、このオプションを選択します。 <p>[Schedule] ドロップダウンリストからスケジュールを選択します。新しいスケジュールを作成するには、[Create Schedule] をクリックします。</p>

[Policy] ドロップ ダウンリスト	デフォルトでは、次の抑制ポリシーが選択されます。 • default-server-maint : サーバの障害を抑制します。
-------------------------	---

ステップ7 [OK] をクリックします。

ブレードサーバの障害抑制タスクの表示

手順

- ステップ1 [ナビゲーション]ペインで、[機器]をクリックします。
- ステップ2 [機器 (Equipment)] > [シャーシ (Chassis)] > [シャーシ番号 (Chassis Number)] > [サーバ (Servers)] の順に展開します。
- ステップ3 障害抑制タスク プロパティを表示するサーバをクリックします。
- ステップ4 [Work] ペインで、[General] タブをクリックします。
- ステップ5 [Actions] 領域で、[Suppression Task Properties] をクリックします。
- [Suppression Tasks] ダイアログボックスでは、新しい障害抑制タスクの追加、既存の障害抑制タスクの削除、既存の障害抑制タスクの変更を行うことができます。

ブレードサーバに対する障害抑制タスクの削除

この手順では、ブレードサーバのすべての障害抑制タスクを削除します。タスクを個別に削除するには、[Suppression Tasks] ダイアログボックスで、[Delete] ボタンを使用します。[ブレードサーバの障害抑制タスクの表示 \(14 ページ\)](#) を参照してください。

手順

- ステップ1 [ナビゲーション]ペインで、[機器]をクリックします。
- ステップ2 [機器 (Equipment)] > [シャーシ (Chassis)] > [シャーシ番号 (Chassis Number)] > [サーバ (Servers)] の順に展開します。
- ステップ3 すべての障害抑制タスクを削除するサーバをクリックします。
- ステップ4 [Work] ペインで、[General] タブをクリックします。
- ステップ5 [Actions] 領域で、[Stop Fault Suppression] をクリックします。

ヒント 複数のブレードサーバの障害抑制タスクを削除するには、[Navigation] ペインで、**Ctrl** キーを使用して複数のブレードサーバを選択します。選択したサーバのいずれかを右クリックし、[Stop Fault Suppression] を選択します。

ステップ6 確認ダイアログボックスが表示されたら、[はい]をクリックします。

ラック サーバに対する障害抑制タスクの設定

手順

ステップ1 [ナビゲーション]ペインで、[機器]をクリックします。

ステップ2 [機器]>[ラックマウント]>[サーバ]を展開します。

(注) Cisco UCS C125 M5 サーバ では、[機器 (Equipment)]>[ラックマウント (Rack Mounts)]>[エンクロージャ (Enclosures)]>[ラック エンクロージャ *rack_enclosure_number* (Rack Enclosure *rack_enclosure_number*)]>[サーバ (Servers)]の順に展開します。

ステップ3 障害抑制タスクを作成するサーバをクリックします。

ステップ4 [Work] ペインで、[General] タブをクリックします。

ステップ5 [Actions] エリアで、[Start Fault Suppression] をクリックします。

ヒント 複数のラック サーバに対して障害抑制タスクを設定するには、[Navigation] ペインで、**Ctrl** キーを使用して複数のラック サーバを選択します。選択したサーバのいずれかを右クリックして、[Start Fault Suppression] を選択します。

ステップ6 [Start Fault Suppression] ダイアログボックスで、次のフィールドに入力します。

[Name] フィールド	障害抑制タスクの名前。 この名前には、1～16文字の英数字を使用できます。- (ハイフン)、_ (アンダースコア)、: (コロン)、および. (ピリオド) は使用できますが、それ以外の特殊文字とスペースは使用できません。また、オブジェクトが保存された後に、この名前を変更することはできません。
--------------	---

<p>[Select Fixed Time Interval/Schedule] フィールド</p>	<p>障害抑制タスクを実行するタイミングを指定します。次のいずれかになります。</p> <ul style="list-style-type: none"> • [Fixed Time Interval] : 障害抑制タスクの開始時間と期間を指定するには、このオプションを選択します。 <p>[Start Time] フィールドに、障害抑制タスクを開始する日付と時間を指定します。このフィールドの終わりにある下向き矢印をクリックして、ポップアップカレンダーから開始時間を選択します。</p> <p>[Task Duration] フィールドに、このタスクの継続時間を指定します。手動で停止するまでこのタスクを実行させる場合は、このフィールドに「00:00:00:00」と入力します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • [Schedule] : 事前に定義されたスケジュールを使用して開始時間と期間を設定するには、このオプションを選択します。 <p>[Schedule] ドロップダウンリストからスケジュールを選択します。新しいスケジュールを作成するには、[Create Schedule] をクリックします。</p>
<p>[Policy] ドロップダウンリスト</p>	<p>デフォルトでは、次の抑制ポリシーが選択されます。</p> <ul style="list-style-type: none"> • default-server-maint : サーバの障害を抑制します。

ステップ7 [OK] をクリックします。

ラック サーバの障害抑制タスクの表示

手順

ステップ1 [ナビゲーション] ペインで、[機器] をクリックします。

ステップ2 [機器] > [ラックマウント] > [サーバ] を展開します。

(注) Cisco UCS C125 M5 サーバでは、[機器 (Equipment)] > [ラックマウント (Rack Mounts)] > [エンクロージャ (Enclosures)] > [ラック エンクロージャ rack_enclosure_number (Rack Enclosure rack_enclosure_number)] > [サーバ (Servers)] の順に展開します。

ステップ3 障害抑制タスク プロパティを表示するサーバをクリックします。

ステップ4 [Work] ペインで、[General] タブをクリックします。

ステップ5 [Actions] 領域で、[Suppression Task Properties] をクリックします。

[Suppression Tasks] ダイアログボックスでは、新しい障害抑制タスクの追加、既存の障害抑制タスクの削除、既存の障害抑制タスクの変更を行うことができます。

ラック サーバに対する障害抑制タスクの削除

この手順では、ラック サーバのすべての障害抑制タスクを削除します。タスクを個別に削除するには、[Suppression Tasks] ダイアログボックスで、[Delete] ボタンを使用します。[ラック サーバの障害抑制タスクの表示 \(16 ページ\)](#) を参照してください。

手順

ステップ 1 [ナビゲーション] ペインで、[機器] をクリックします。

ステップ 2 [機器] > [ラックマウント] > [サーバ] を展開します。

(注) Cisco UCS C125 M5 サーバでは、[機器 (Equipment)] > [ラックマウント (Rack Mounts)] > [エンクロージャ (Enclosures)] > [ラック エンクロージャ *rack_enclosure_number* (Rack Enclosure *rack_enclosure_number*)] > [サーバ (Servers)] の順に展開します。

ステップ 3 すべての障害抑制タスクを削除するサーバをクリックします。

ステップ 4 [Work] ペインで、[General] タブをクリックします。

ステップ 5 [Actions] 領域で、[Stop Fault Suppression] をクリックします。

ヒント 複数のラック サーバの障害抑制タスクを削除するには、[Navigation] ペインで、**Ctrl** キーを使用して複数のラック サーバを選択します。選択したサーバのいずれかを右クリックし、[Stop Fault Suppression] を選択します。

ステップ 6 確認ダイアログボックスが表示されたら、[はい] をクリックします。

サービス プロファイルに対する障害抑制の設定

サービス プロファイルに対する障害抑制タスクの設定

手順

ステップ 1 [ナビゲーション] ペインで、[サーバ] をクリックします。

ステップ 2 [サーバ] > [サービスプロファイル] を展開します。

ステップ 3 障害抑制タスクを作成するサービス プロファイルをクリックします。

ステップ 4 [Work] ペインで、[General] タブをクリックします。

ステップ5 [Actions] エリアで、[Start Fault Suppression] をクリックします。

ヒント 複数のサービスプロファイルに対して障害抑制タスクを設定するには、[Navigation] ペインで、Ctrl キーを使用して複数のサービスプロファイルを選択します。選択したいいずれかのサービスプロファイルを右クリックし、[Start Fault Suppression] を選択します。

ステップ6 [Start Fault Suppression] ダイアログボックスで、次のフィールドに入力します。

[Name] フィールド	<p>障害抑制タスクの名前。</p> <p>この名前には、1～16文字の英数字を使用できます。- (ハイフン)、_ (アンダースコア)、: (コロン)、および. (ピリオド) は使用できますが、それ以外の特殊文字とスペースは使用できません。また、オブジェクトが保存された後に、この名前を変更することはできません。</p>
[Select Fixed Time Interval/Schedule] フィールド	<p>障害抑制タスクを実行するタイミングを指定します。次のいずれかになります。</p> <ul style="list-style-type: none"> • [Fixed Time Interval] : 障害抑制タスクの開始時間と期間を指定するには、このオプションを選択します。 <p>[Start Time] フィールドに、障害抑制タスクを開始する日付と時間を指定します。このフィールドの終わりにある下向き矢印をクリックして、ポップアップカレンダーから開始時間を選択します。</p> <p>[Task Duration] フィールドに、このタスクの継続時間を指定します。手動で停止するまでこのタスクを実行させる場合は、このフィールドに「00:00:00:00」と入力します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • [Schedule] : 事前に定義されたスケジュールを使用して開始時間と期間を設定するには、このオプションを選択します。 <p>[Schedule] ドロップダウンリストからスケジュールを選択します。新しいスケジュールを作成するには、[Create Schedule] をクリックします。</p>
[Policy] ドロップダウンリスト	<p>デフォルトでは、次の抑制ポリシーが選択されます。</p> <ul style="list-style-type: none"> • default-server-maint : サーバの障害を抑制します。

ステップ7 [OK] をクリックします。

サービス プロファイルに対する障害抑制タスクの削除

この手順では、サービスプロファイルに対する障害抑制タスクをすべて削除します。タスクを個別に削除するには、[Suppression Tasks] ダイアログボックスで、[Delete] ボタンを使用しま

す。サービス プロファイルに対する障害抑制タスクの表示 (19 ページ) を参照してください。

手順

ステップ 1 [ナビゲーション]ペインで、[サーバ]をクリックします。

ステップ 2 [サーバ]>[サービスプロファイル]を展開します。

ステップ 3 すべての障害抑制タスクを削除するサービス プロファイルをクリックします。

ステップ 4 [Work] ペインで、[General] タブをクリックします。

ステップ 5 [Actions] 領域で、[Stop Fault Suppression] をクリックします。

ヒント 複数のサービスプロファイルに対して障害抑制タスクを削除するには、[Navigation] ペインで、Ctrl キーを使用して複数のサービス プロファイルを選択します。選択したサービスプロファイルのいずれか右クリックし、[Stop Fault Suppression] を選択します。

ステップ 6 確認ダイアログボックスが表示されたら、[はい]をクリックします。

サービス プロファイルに対する障害抑制タスクの表示

手順

ステップ 1 [ナビゲーション]ペインで、[サーバ]をクリックします。

ステップ 2 [サーバ]>[サービスプロファイル]を展開します。

ステップ 3 障害抑制タスク プロパティを表示するサービス プロファイルをクリックします。

ステップ 4 [Work] ペインで、[General] タブをクリックします。

ステップ 5 [Actions] 領域で、[Suppression Task Properties] をクリックします。

[Suppression Tasks] ダイアログボックスでは、新しい障害抑制タスクの追加、既存の障害抑制タスクの削除、既存の障害抑制タスクの変更を行うことができます。

組織に対する障害抑制の設定

組織に対する障害抑制タスクの設定

手順

- ステップ 1 [ナビゲーション]ペインで、[サーバ]をクリックします。
- ステップ 2 [サーバ (Servers)] > [ポリシー (Policies)] > [Organization Name] の順に展開します。
- ステップ 3 障害抑制タスクを作成する組織をクリックします。
- ステップ 4 [Work] ペインで、[General] タブをクリックします。
- ステップ 5 [Actions] エリアで、[Start Fault Suppression] をクリックします。
- ステップ 6 [Start Fault Suppression] ダイアログボックスで、次のフィールドに入力します。

[Name] フィールド	<p>障害抑制タスクの名前。</p> <p>この名前には、1 ~ 16 文字の英数字を使用できます。 - (ハイフン)、_ (アンダースコア)、: (コロン)、および . (ピリオド) は使用できますが、それ以外の特殊文字とスペースは使用できません。また、オブジェクトが保存された後に、この名前を変更することはできません。</p>
[Select Fixed Time Interval/Schedule] フィールド	<p>障害抑制タスクを実行するタイミングを指定します。次のいずれかになります。</p> <ul style="list-style-type: none"> • [Fixed Time Interval] : 障害抑制タスクの開始時間と期間を指定するには、このオプションを選択します。 <p>[Start Time] フィールドに、障害抑制タスクを開始する日付と時間を指定します。このフィールドの終わりにある下向き矢印をクリックして、ポップアップ カレンダーから開始時間を選択します。</p> <p>[Task Duration] フィールドに、このタスクの継続時間を指定します。手動で停止するまでこのタスクを実行させる場合は、このフィールドに「00:00:00:00」と入力します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • [Schedule] : 事前に定義されたスケジュールを使用して開始時間と期間を設定するには、このオプションを選択します。 <p>[Schedule] ドロップダウン リストからスケジュールを選択します。新しいスケジュールを作成するには、[Create Schedule] をクリックします。</p>
[Policy] ドロップダウン リスト	<p>デフォルトでは、次の抑制ポリシーが選択されます。</p> <ul style="list-style-type: none"> • default-server-maint : サーバの障害を抑制します。

ステップ7 [OK] をクリックします。

組織に対する障害抑制タスクの削除

この手順では、組織に対する障害抑制タスクをすべて削除します。タスクを個別に削除するには、[Suppression Tasks] ダイアログボックスで、[Delete] ボタンを使用します。[組織に対する障害抑制タスクの表示 \(21 ページ\)](#) を参照してください。

手順

- ステップ1 [ナビゲーション] ペインで、[サーバ] をクリックします。
- ステップ2 [サーバ (Servers)] > [ポリシー (Policies)] > [Organization_Name] の順に展開します。
- ステップ3 すべての障害抑制タスクを削除する組織をクリックします。
- ステップ4 [Work] ペインで、[General] タブをクリックします。
- ステップ5 [Actions] 領域で、[Stop Fault Suppression] をクリックします。
- ステップ6 確認ダイアログボックスが表示されたら、[はい] をクリックします。

組織に対する障害抑制タスクの表示

手順

- ステップ1 [ナビゲーション] ペインで、[サーバ] をクリックします。
- ステップ2 [サーバ (Servers)] > [ポリシー (Policies)] > [Organization_Name] の順に展開します。
- ステップ3 障害抑制タスク プロパティを表示する組織をクリックします。
- ステップ4 [Work] ペインで、[General] タブをクリックします。
- ステップ5 [Actions] 領域で、[Suppression Task Properties] をクリックします。

[Suppression Tasks] ダイアログボックスでは、新しい障害抑制タスクの追加、既存の障害抑制タスクの削除、既存の障害抑制タスクの変更を行うことができます。

翻訳について

このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。